様式第３

会　　議　　録

会　　議　　名	令和８年度第１回野田市防災会議
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	１　野田市地域防災計画の修正（案）について（公開） （１）令和８年度事業等の予定について（報告） ①　ジャパン・レジリエンス・アワード受賞について ②　新たな防災気象情報について ③　令和８年度に実施する訓練について ④　第 44 回野田市総合防災訓練について ⑤　のだ防災まちづくり学校について ⑥　災害時応援協定の締結について ⑦　緊急避難場所の解除について （２）野田市地域防災計画の修正素案について
日　　時	令和８年７月 16 日（木） 午後１時 30 分から２時 28 分まで
場　　所	野田市役所高層棟８階　大会議室
出　席　委　員	石田　　涼　　轟木　貴廣　　鷲尾真由美　　垣野　義典 中沢　哲夫　　岩崎　史明　　小林　智彦　　染谷　　篤 石山　哲士　　藤沢　　朋　　根本　和仁　　實方　洋一 廣野　喜之　　西村　卓也　　横川　栄子　　星野　泰宏 荒巻　幸子　　大坂　陽子　　小田　美樹　　浅井さゆり 西村　洋平　　中込　和人　　吉岡　祥恵
欠　席　委　員	永松　義敬　　武藤　健治　　堤　　啓　　阿部　知康 新　　玲子　　矢野　雄士　　児玉　　龍　　木名瀬訓光 鳥飼　友美　　遠藤　克明　　島田ゆかり　　小俣　文宣 今村　　繁
事　務　局　等	島　　修（危機管理部長）　香月　直幸（危機管理部次長） 内海　孝幸（危機管理部参与兼課長） 松井　秀樹（危機管理課長補佐） 西山　修一（危機管理課災害対策係長） 三浦　郁夫（野田市気象防災アドバイザー）
傍　　聴　　者	３名
議　　事	令和８年度第１回野田市防災会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。
司会（災害対策係長）	１　開会 会議の成立について、36 名の委員中 23 名の委員が出席し、半数以上の出席があることから、野田市防災会議運営要領第２条第３項の規定により、会議の成立を報告する。 会議録作成のため録音機を使用することの了承を得る。 会議の公開及び傍聴人の入室について説明する。 配布資料を確認する。

	市長に挨拶を求める。
市長	＝市長挨拶＝
災害対策係長	出席委員を紹介する。 ＝出席委員挨拶＝ 以後の議事進行は、野田市防災会議条例第３条第２項に基づき、会長は市長をもって充てるとされていることから、市長に会長を依頼する。
会長（市長）	議題１、令和８年度事業等の予定について事務局に説明を求める。
危機管理課長補佐	議題１、令和８年度事業等の予定について説明する。
会長（市長）	意見、質問を求める。 ＝意見、質問なし＝
会長（市長）	議題２、野田市地域防災計画の修正素案について事務局の説明を求める。
災害対策係長	議題２、野田市地域防災計画の修正素案について説明する。
会長（市長）	意見、質問を求める。
吉岡委員	語り部活動に対し、具体的なビジョンの説明を求める。
危機管理課長	調整中ではあるが、１月にのだ防災まちづくり学校にて語り部に講話をしてもらう予定である。このような活動を通して災害伝承に努めていきたいと考えている。
会長（市長）	他に意見、質問あるか。
中込委員	マイ・タイムラインについて。のだ市報などで作成を促しているが、記入例などを示す必要があると考える。野田市ホームページには記入例が示されているが、用紙にホームページへ誘導する記載が必要ではないか。 またインターネットから情報を得ることができない人に向けての周知も必要ではないか。
危機管理課長	貴重なご意見、感謝する。前向きに検討したい。

中込委員	災害時の通信障害について。能登半島沖地震では衛星通信システムのスターリンクが活用された。野田市での採用検討状況について説明を求める。
危機管理課長	災害時、地上の通信網が断絶した際に有効と認識しており、活用方法含め、検討段階にあると考えている。
中込委員	ハザードマップには各避難所毎の収容人数の記載が無いが、避難する際に参考になる情報ではないか。
危機管理課長	避難所の運営マニュアルには記載がある。訓練の際に見ていただく形でお伝えさせて頂いている。
中込委員	大規模事故編について。ゴミ焼却場のリチウムイオン電池火災について対策をとっているのか。
危機管理課長	リチウムイオン電池火災については環境政策の中で対応していくものと考えている。地域防災計画においても大規模災害への対応を規定しているが、まずは大規模火災に繋がらないように対策をしていく必要がある。
会長（市長）	他に意見、質問あるか。原案の通り承認することに異議はないか。 ＝異議なし＝ 異議がないため、原案のとおり承認された。この修正案をもって、パブリックコメントを実施し市民から意見を募ることとする。 午後２時 28 分閉会を宣言する。